

ヤングアダルト の本

いま読みたい小説
4000冊

日本の作品

阿川 佐和子
あがわ・さわこ
《1953～》

『うからはらから』阿川佐和子著 新潮社
2014.3 503p 16cm (新潮文庫) 750円
①978-4-10-118456-2

【内容】夫と別れ、実家に出戻った未来を突如襲った両親の熟年離婚。悲嘆に暮れたのも束の間、父が連れてきた再婚相手は、豊かすぎる悩みを抱えた茶髪巻髪の小娘。しかもクソ生意気なコブ付きで…。自分の人生曲がり角。なのに家族が巻き起こす騒動で頭の痛い日々は続く。良かれ悪しかれ親族兄弟姉妹。嫌いだっただの人も、憎らしいアンチクショウさえも愛おしくなる、長編家族小説。

【別版】新潮社 2011.2

『ギョットちゃんの冒険』阿川佐和子著、スタジオジブリ編 大和書房 2008.7
409p 20cm 1900円 ①978-4-479-65010-2

【内容】「ホーウホウ、ホーウホウ…」—ケッヘル博士と森の中の屋敷で暮らす七歳のギョットちゃんは、ある日、フクロウ語を習い始めます。森の仲間たちの本当の色が見えるようになるための修業の第一歩です。ケッヘル博士にガラクタ王、ミセス・カーメルにクルーニー夫人と、ちょっとヘンな大人たちに見守られ、ギョットちゃんの冒険が始まります。

『婚約のあとで』阿川佐和子著 新潮社
2010.11 448p 16cm (新潮文庫) 629円
①978-4-10-118454-8

【内容】晴れて婚約したのに結婚をためらい始めた波。秘密の恋に大胆に身を任せてゆく碧。男性との関係を仕事のステップアップにつなげる真理。三世同居家族の中の専業主婦、優美。障害があるゆえに自立を求めて結婚に踏み切れない宙…。姉妹、友人、仕事仲間としてリンクする七人。恋愛、結婚、仕事、家庭をめぐって揺れる彼女たちの、それぞれの心情と選択をリアルに描き出した連作集。

【別版】新潮社 2008.2

『スープ・オペラ』阿川佐和子著 新潮社
2008.6 505p 16cm (新潮文庫) 667円
①978-4-10-118453-1

【内容】ルイ。独身。35歳。女手ひとつで育ててくれた叔母さんが、還暦を前に突然の恋に落ちて出奔。一人残されたルイの家には、ひよんなことから二人の独身男が転がり込んできた。初老だけどモテモテのトニーさんと、年下の気弱な康介。唯一の共通点はスープ好き。一つ屋根の下で暮らすことになった、そんな三人の関係は。そして叔母さんの恋の行方は？温かくキュートで少しだけ辛口の物語。

『正義のセーユズウキカンチンで何が悪い！』阿川佐和子著 KADOKAWA
2016.8 282p 15cm (角川文庫) 〈角川書店 2013年刊の再刊〉600円 ①978-4-04-101337-3

【内容】下町の豆腐屋育ちの凛々子は、小学生の時のある事件をきっかけに持ち前の正義感を活かすべく検事になることを決意。ところが、交通死亡事故の案件では被疑者の生い立ちを知って悩み、別の恐喝未遂事件ではチンピラ風の取り調べで大失態！家族や同僚の助けを借りながら、凛々子は手探りで自らの『正義』を見つけ出そうとするが…。新人女性検事が泣き、笑い、決断し、奮闘する一等身長の成長物語がスタート！

【別版】角川書店 2013.2

『正義のセ 2 史上最底の三十歳！』阿川佐和子著 KADOKAWA 2017.1
239p 15cm (角川文庫) 〈角川書店 2013年刊の再刊〉600円 ①978-4-04-101633-6

【内容】検事5年目に突入した凛々子が担当するのは女性を狙った凶悪事件。女性として絶対に許せない案件に気合十分で取り調べに挑む。一方で同期・順子の恋愛スキャンダルや父の浮気疑惑、はたまた神蔵守からの突然のプロポーズなどプライベートでは恋の波乱続き！被害者や被疑者と向き合った末に自信を持って決断を下した凛々子だが、大トラブルに発展してしまい!?下町育ちの女検事の成長物語、第2弾！

【別版】角川書店 2013.3

『正義のセ 3 名誉挽回の大勝負！』阿川佐和子著 KADOKAWA 2017.4
274p 15cm (角川文庫) 〈角川書店 2013年刊の再刊〉640円 ①978-4-04-101634-3

【内容】親友・明日香の記事によって誤審を暴かれ、検事失業のピンチに陥った凛々子。それでも事件の真相を追い求め続けるなかで凛々子は冤罪犯が隠していた別の罪に気づく。ところが被害女性を訪ねたものの門前払いにされてしまい、その裏に明日香がいることを知り…。一方プライベートでは妹・温子の破談に責任を感じた凛々子が大暴走し、神蔵守にまさかの逆プロポーズ!?下町育ちの女検事の成長物語、恋と友情のゆくえは—！

【別版】角川書店 2013.3

『正義のセ 4 負けっぱなしで終わるもんか！』阿川佐和子著 KADOKAWA 2017.9 404p 15cm (角川文庫) 〈「負けるもんか」(2015年刊)の改題〉760円 ①978-4-04-106045-2

【内容】転勤で尼崎にやってきた検事・凛々子のもとに汚職事件の告発状が届いた。したたかな相手に取り調べは進まず、凛々子は証拠集めに奔走する。豪快な110番担当の虎子や、こてこの関西弁の青井刑事と協力して捜査を進め、上司にガサ入れの許可を求めるが、理不尽な理由で却下されてしまう。一方プライベートでは、幼馴染みの紹介で知り合った俳優と恋の予感が!?下町育ちの女検事、関西でも『正義』に向かって全力投球！

【別版】KADOKAWA 2015.6

朝井 リョウ
あさい・りょう
《1989～》

『桐島、部活やめるってよ』朝井リョウ著 集英社 2012.4 245p 16cm (集英社文庫) 476円 ①978-4-08-746817-5

【内容】田舎の県立高校。バレー部の頼れるキャプテン・桐島が、理由も告げずに突然部活をやめた。そこから、周囲の高校生たちの学校生活に小さな波紋が広がっていく。バレー部の補欠・風助、プラスバンド部・亜矢、映画部・涼也、ソフト部・実果、野球部ユレー部員・宏樹。部活も校内での立場も全く違う5人それぞれに起こった変化とは…？瑞々しい筆致で描かれる、17歳のリアルな青春群像。第22回小説すばる新人賞受賞作。

【別版】集英社 2010.2

『少女は卒業しない』朝井リョウ著 集英社 2015.2 281p 16cm (集英社文庫) 540円 ①978-4-08-745280-8

【内容】今日、わたしは「さよなら」をする。図書館の優しい先生と、退学して公認の幼馴染と、生徒会の先輩と、部内公認の彼氏と、自分だけが知っていた歌声と、たった一人の友達と、そして、胸に詰まったままの、この想いと。別の高校との合併で、翌日には校舎が取り壊される地方の高校、最後の卒業式の日を、七人の少女の視点から描く。青春のすべてを詰め込んだ、珠玉の連作短編集。

【別版】集英社 2012.3

『スベードの3』朝井リョウ著 講談社
2017.4 344p 15cm (講談社文庫) 640円 ①978-4-06-293613-2

【内容】有名劇団のかつてのスター“つかさ様”のファンクラブ「ファミリア」を束ねる美知代。ところがある時、ファミリアの均衡を乱す者が現れる。つかさ様似の華やかな彼女は昔の同級生。なぜ。過去が呼び出され、思いがけない現実が押し寄せ。息詰まる今を乗り越える切り札はどこに。屈折と希望を描いた連作集。

【別版】講談社 2014.3

『世界地図の下書き』朝井リョウ著 集英社 2016.6 365p 16cm (集英社文庫) 600円 ①978-4-08-745452-9

【内容】両親を事故で亡くした小学生の太輔は「青葉おひさまの家」で暮らし始める。心を閉ざしていた太輔だが、仲間たちとの日々で、次第に心を開いてゆく。中でも高校生の佐緒里は、みんなのお姉さんのような存在。卒業とともに施設を出る彼女のため、子どもたちはある計画を立てる…。子どもたちが立ち向かうそれぞれの現実と、その先にある一握りの希望を新たな形で描き出した渾身の長編小説。

【別版】集英社 2013.7

『チア男子!!』朝井リョウ著 集英社
2013.2 486p 16cm (集英社文庫) 760円 ①978-4-08-745032-3

【内容】大学1年生の晴希は、道場の長男として幼い頃から柔道を続けてきた。だが、負けなしの姉と比べて自分の限界を悟っていた晴希は、怪我をきっかけに柔道部を退部する。同時期に部をやめた幼なじみの一馬に誘われ、大学チア初の男子チームを結成することになるが、集まってきたのは個性的すぎるメンバーで…。チアリーディングに青春をかける男子たちの、笑いと汗と涙の感動ストーリー。

【別版】集英社 2010.10

海外の作品

アヴィ
 Avi
 《1937〜》

『シャーロット・ドイルの告白』アヴィ作、茅野美ど里訳 あすなろ書房 2010.7 319p 20cm 1600円 ①978-4-7515-2215-8

【内容】はじめから、何かがおかしかった。船長の名を耳にただで逃げ出したポーター。船体を一目見るなり、あいさつもなしに走り去った男。同行するはずの家族は、どちらもありバブル港に姿を見せなかった。何も知らず、ただ一人の乗客としてシーホーク号に上船したシャーロットの運命は…。ニューベリー賞銀賞受賞作。

『はじめのはじまりのはじまりのおわりー小さいカタツムリともっと小さいアリの冒険』アヴィ作、トリシャ・トゥサ画、松田青子訳 福音館書店 2012.11 181p 17cm (福音館文庫) 600円 ①978-4-8340-2183-7

【内容】カタツムリのエイヴォンは本が大好き。本の中では色んな生き物たちが冒険をくりひろげ、そして冒険を終えたみんなはとても幸せそう。エイヴォンはアリのエドワードとともに「冒険を探すための冒険」の旅に出ます。数々の不思議なできごとに出会いながら、枝の上のゆかいな冒険はゆっくり続きます。小学校中級以上。

アースキン、キャスリン
 Erskine, Kathryn

『ぼくの見つけた絶対値』キャスリン・アースキン著、代田亜香子訳 作品社 2012.7 266p 20cm (選:金原瑞人) 1800円 ①978-4-86182-393-0

【内容】数学者のパパは、中学生のぼくを将来エンジニアにしようと望んでいるけど、実はぼく、数学がまるで駄目。でも、この夏休み、

ぼくは小さな町の人々を幸せにするすばらしいプロジェクトに取り組む“エンジニア”になった！ 全米図書賞受賞作家による、笑いと感動の傑作YA小説。

『モツキンバード』キャスリン・アースキン著、ニキリンコ訳 明石書店 2013.1 270p 20cm 1300円 ①978-4-7503-3750-0

【内容】アメリカ、バージニア州の小さな町の中学校で銃乱射事件が起きた。アスベルガー症候群の少女ケイトリンは、ただひとり頼りにしていたお兄ちゃんを事件で失ってしまう。絵が得意で本が大好きだけれど、他人の気持ちを読み取ることができないケイトリンは、小学校で友だちもできない。パパは悲しみにくれているし、親身になって支えてくれる学校カウンセラーのブルック先生も、ケイトリンの本当の思いはわかってくれない。そんなとき出会ったある言葉の意味をさぐるうち、ケイトリンは、社会で生きるために大事なことに気づいていく。全米図書賞(2010年)児童文学部門受賞。

アトウッド、マーガレット
 Atwood, Margaret Eleanor
 《1939〜》

『オリクスとクレイク』マーガレット・アトウッド著、畔柳和代訳 早川書房 2010.12 467p 20cm 3000円 ①978-4-15-209181-9

【内容】人類がいなくなった海辺で、スノーマンは夢うつつを漂っている。思い出すのは、文明があったころの社会。スノーマンはまだジミーという名前だった少年時代。高校でめぐりあった親友クレイクとかわした会話。最愛の人オリクスとのひととき。誰がこんな世界を望んでいたのだろうか。そして、自分はなにをしてしまったのだろうか。カナダを代表する作家マーガレット・アトウッドが透徹した視点で描き出す、ありうるかもしれない未来の物語。

『キャッツ・アイ』マーガレット・アト

ウッド著、松田雅子、松田寿一、柴田千秋訳 開文社出版 2016.12 576p 20cm 2600円 ①978-4-87571-085-1

『テント』マーガレット・アトウッド著、中島恵子、池村彰子訳 英光社 2017.11 195p 19cm 2300円 ①978-4-87097-142-4

【内容】「サロメは踊り子」「猫ちゃん天国に登場」他。『テント』に取められたカジュアルで深淵な短編メタフィクションが、日常性の中に潜む幻想と神秘的の迷宮へ読者を誘う…。

アーモンド、デイヴィッド
 Almond, David
 《1951〜》

『肩胛骨は翼のなごり』デイヴィッド・アーモンド著、山田順子訳 東京創元社 2009.1 241p 15cm (創元推理文庫) (著作目録あり) 700円 ①978-4-488-54302-0

【内容】引越してきたばかりの家。古びたガレージの暗い陰で、ぼくは彼をみつめた。ほこりまみれでやせおとろえ、髪や肩にはアオバエの死骸が散らばっている。アスピリンやテイクアウトの中華料理、虫の死骸を食べ、ブラウンエールを飲む。誰も知らない不可思議な存在。彼はいったい何？ 命の不思議と生の喜びに満ちた、素晴らしい物語。カーネギー賞、ウィットブレッド賞受賞の傑作。

『ババはバードマン』デイヴィッド・アーモンド作、ポリリー・ダンバー絵、金原瑞人訳 フレーベル館 2011.10 161p 21cm 1400円 ①978-4-577-03963-2

【内容】ここ、イギリス北部の町ではちょっとおかしなことが起こりはじめた。ババは、つばさを作り、虫を食べ、巣作りをしている。ドリーンおばさんは、ふきげんな顔でダンプリングなる料理を作り、ミスター・プップは、大声を上げて通りをねり歩き校長のミント先生まで、そわそわするしまつ。そしてこの本の主人公、しっかり者のリジーは、なんて美しい鳥の羽なんだろうと思ひながら…。すべてのなぞは…、そう、だれがいちばんすごい鳥人間でしょうコンテストにあるのだ！ 国際アンデルセン賞受賞作家デイヴィッド・アーモンドのお話が始まるよ。

『ヘヴンアイズ』デイヴィッド・アーモンド著、金原瑞人訳 新装版 河出書房新社 2010.6 253p 19cm 1500円 ①978-4-309-20541-0

【内容】自由を求めて孤児院を抜け出し、筏に乗り込んだ3人の子どもたち。川を下ってたどり着いたのは、真っ黒な泥が広がるブラック・ミドゥン。そこには、両手に水かきのある女の子と奇妙な老人が、二人きりで暮らしていた。黒い黒いその泥のなかには、たくさんの秘密と悲しみと、「奇跡」が埋まっていた…。

『ポケットのなかの天使』デイヴィッド・アーモンド著、山田順子訳 東京創元社 2018.2 274p 19cm 1900円 ①978-4-488-01077-5

【内容】バートはこの十年、ずっとこの路線でバスを走らせてきた。同じ道、同じバス停、停車・発車の繰り返し…もううんざりだ。そんなある日、バートのもとに天使がやってきた。指でつまみあげられるくらいのおこしい天使。かわいい天使に妻のベティも大喜び。セント・マンゴー校で調理師をしているベティは、アンジェリーノと名付けた天使を早速学校に連れていった。学校に天使がいる！ たちまち生徒たちの人気者に。だが、そんなアンジェリーノの様子を物陰からうかがう黒ずくめの怪しい影があった…。国際アンデルセン賞を受賞した名手アーモンドが描く、『肩胛骨は翼のなごり』とはひと味ちがうかわい天使の物語。

『ミナの物語』デイヴィッド・アーモンド著、山田順子訳 東京創元社 2012.10 234p 19cm 1600円 ①978-4-488-01348-6

【内容】あたしの名前はミナ。あたしは夜が大好き。あたしは夜をのぞきこむ。フクロウやコウモリが夜空を飛び、月を横切っている。どこかでネコのウイスバーが、月の光でできた影から影へと歩きまわっているだろう。目を閉じると、そういう生きものたちがあたしのなかで動きまわっているような気がする。あたし自身があやしげな生きものみたいな気持ち。あたしはミナという名前の女の子だけど、ただの女の子じゃない。そう、ミナはただの女の子じゃない。型にはまらず自由で、喜びに満ちていて…喜びを歌うために生まれてきた鳥が、籠に閉じこめられて、どうして歌えるというのだ？ 『肩胛骨は翼のなごり』の前日譚。個性的な女の子ミナの羽ばたく心の物語。

アリグザンダー、ロイド
 Alexander, Lloyd
 《1924〜2007》

『王国の独裁者』ロイド・アリグザンダー

ヤングアダルトの本 いま読みたい小説 4000冊

2018年9月25日 第1刷発行

発行者／大高利夫

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

発売元／株式会社紀伊屋書店

〒163-8636 東京都新宿区新宿3-17-7

電話 (03)3354-0131 (代表)

ホールセール部(営業) 電話 (03)6910-0519

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／光写真印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

(中性紙三麗クリアムエレガ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2740-9

Printed in Japan, 2018

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。